

Enterprise Agile業務推進力を強化する 実践型トレーニング

Agile人材育成を強力に支援し、ビジネスとITの変革を加速

Agile人材育成が喫緊の課題

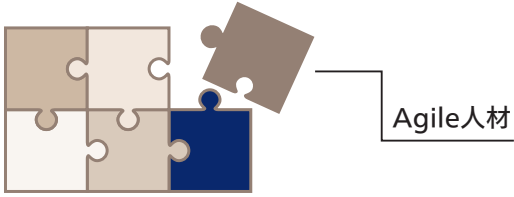
第4次産業革命・デジタルトランスフォーメーションが本格化する中、ビジネス環境の急速な変化に呼応するためAgileを実践し、すばやくビジネスとITを変革していくことがスタンダードになりつつあります。しかしながら多くの企業においてAgileを推進できる人材が不足しており、人材育成が喫緊の課題となっています。

アビームコンサルティングでは、プロジェクトを成功させるアプローチとして国内外を含むプロジェクトの特性、組織、文化、ステークホルダーの成熟度に応じて、様々な形でAgileを実践してきました。

多数の実績から得られた知見・ノウハウをベースに、Agile人材育成を目的にした“より実践的な”トレーニングを開発しました。従来のトレーニングでは実践方法が見出せなかった方にお奨めのトレーニングです。また、初めてAgileに取り組まれる方にも必要に応じてカスタマイズ可能です。

アビームコンサルティングは、貴社現場でAgileを推進・実践できるAgile人材の育成を強力に支援し、ビジネスとITの変革を加速します。

ビジネスとITの変革に必須の資産



一筋縄ではいかないAgile人材育成

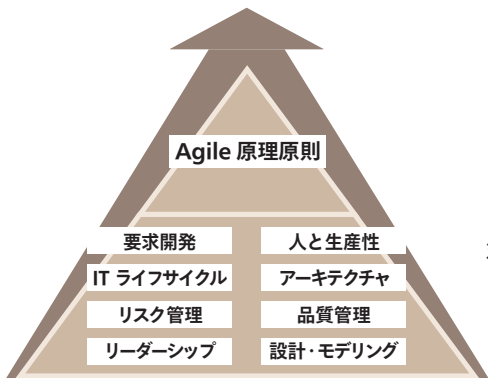
経済産業省が発表した「DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～」にも、Agileの実践を通じてAgile人材を育成していくことが重要であると述べられており、多くの企業で育成への取り組みが加速しました。

しかしながら、これまで築き上げてきた「方法論」や「手法」が定着している組織・文化が障壁となるケースが多く、Agile人材の育成が成果として表れていないのが現状です。

Agileを実践していくためには、従来のやり方、教科書的なAgileに固執せず、全ての活動において「なぜ」そのやり方をこのタイミングで適用すべきかを判断できることが、極めて重要な要素となります。

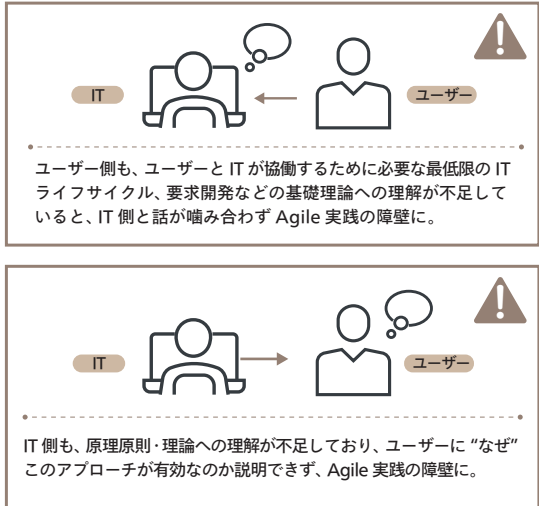
そのためには、Agile原理原則の根底にあるピープルウェア、ソフトウェア工学、リーダーシップなどの理論を正しく理解し、自分たちが「なぜ」うまくいかなかったのか、「なぜ」うまくいったのかを考え、よりよい考え方やアプローチをユーザーとITの双方に対して有識知化していくことがAgile人材に求められます。

Agileの推進・実践が可能



Agileを推進・実践していくためには、根底にある理論を理解し「なぜ」を語れる必要がある。

根底にある理論を
双方が理解していないと…



アビームコンサルティングが提供するトレーニングの特徴

3つの特徴 選ばれる理由

アビームコンサルティングが提供する実践型トレーニングは、ビジネスとITの変革にAgileを活用することで得られたノウハウをベースに開発しました。「知っているではなく、実践できる」をキーワードに3つの特徴があります。

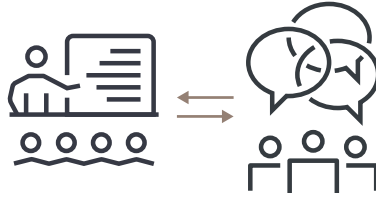
この3つの特徴により、Agileの原理原則を正しく理解し、プロジェクト特性や状況に応じた適切なアプローチを設計できるようになり、具体的な実践方法が受講者自ら描けるようになります。

1. 事例ベースのコンテンツを 実践者が直接指導



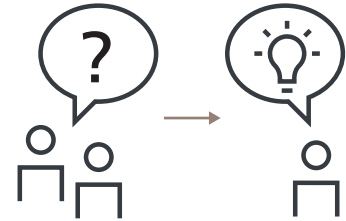
全てのコンテンツは、現場で実践してきたノウハウから構成されています。基礎的な内容はもちろん、それをどのように実践するのかが理解できます。また、受講者の疑問に実践者が直接回答することがポイントです。

2. 講義と議論を繰り返し 徹底的な定着



講義で理解した内容を実践するために、どのような課題・障壁があるか。それを突破するために自分がすべきことは何か。徹底的に議論します。

3. 豊富なQA時間で実践に 向けた疑問を残さない



現場での実践方法をイメージした際、こんな場合、このケースでは？
このような生きた疑問にも、ビジネスとITを変革に導いた実体験から徹底的に答えます。

トレーニングコンテンツ

目的・受講者に応じてカスタマイズが可能

アビームコンサルティングが提供する実践型トレーニングは、基礎から実践的な内容まですべてをカバーしています。ユーザー部門からIT部門、経営層から現場担当者まで、受講者特性やゴールに応じてカスタマイズが可能です。

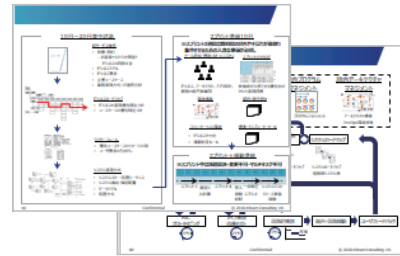
ベースコンテンツ

Agileとは? - 原理原則の理解 (2時間~)

Agileを実践するためのアプローチ (2時間~)

Agile Case Study - 実践に向けた議論とQ&A (2時間~)

週1回の2時間からのトレーニングで、現業と並行実施も可能です。
また、ユーザー部門・IT部門の合同研修も可能です。



追加トレーニングコンテンツ

IT ライフサイクル

品質管理

リスク管理

人と生産性

要求開発

アーキテクチャ

リーダーシップ

設計・モデリング

上記のほか様々なコンテンツをご用意しております。ベースコンテンツに組み合わせてご利用ください。

トレーニング受講後の支援サービスも充実しています。

トレーニング受講後の立ち上げ支援、現場サポートも含めて各種サービスをご用意しております。

ガイドライン策定支援

貴社文化に合わせ、
Agile ガイドラインを策定

プロジェクト計画策定支援

反復計画の立案を支援

プロジェクトアセスメント

4週間で、Agile 実践プロジェクトの課題分析と解決策を提示

Agile アドバイザリー

週1回、対面での相談会 +
オンラインでのアドバイスを実施